

第6回 図書館まつり報告

◎12月6日(土) 会場:宗像ユリックス2階 会議室1・2

イベント名	時間	内容	参加者数
図書館まつり講演会 『吉田松陰』	10:00 ～ 12:00	◆講師:今長谷照子(元篠栗町立図書館副館長) ◆幕末の長州藩士で思想家の吉田松陰の生涯について	52人

◎12月7日(日) 会場:宗像ユリックス1階 展示室1～3及び図書館内

イベント名	時間	内容	参加者数
ボランティアの部屋	10:00 ～ 15:00	◆読書推進ボランティア団体(参加団体:15)による 団体紹介コーナー展示、おはなし会、工作 ※おはなし会(3回実施):11:00～11:30、13:00 ～13:30、14:00～14:30 ◆小学生読書リーダーが絵本の読み聞かせに参加	318人
子ども工作教室 (子ども向け)	10:00 ～ 12:00	◆指導:マザーはんど(赤間小ボランティアグループ) ◆紙コップでキャンディーボックスを製作(無料) ◆小学生読書リーダーが作り方の指導手伝い	80人
ペーパークイリングで飾 るギフトカード(大人向け)	13:30 ～ 15:00	◆講師:梅田盾子(染織家) ◆細長く切って巻いた紙で飾り付けしたギフトカードを 製作(材料費200円)	14人
BOOKリサイクル	10:00 ～ 15:00	◆除籍した本や雑誌、寄贈本などを無料提供。1人 10冊まで持ち帰り可。2,574冊がリサイクルされた ◆小学生読書リーダーが受付などを担当	422人
「わたしのおすすめの 小説」展示	10:00 ～ 18:00	◆市民から募集した「わたしのおすすめの小説」の 用紙を本とあわせて図書館内に展示	1,470人

◆図書館まつり来場者数:2,304人

◎ボランティアと協働で実施

◆読書推進ボランティア団体

「ボランティアの部屋」の運営に、市内で活動中の読書推進ボランティア29団体のうち18団体が参加。ボランティア団体紹介コーナーの設置、部屋全体の飾り付け、当日の受付、おはなし会の実施、工作コーナーでの子どもへの対応等をすべて読書推進ボランティアが行った。

◆市民ボランティア

図書館まつりのスタッフを市民から募集。学生(福岡教育大学、日本赤十字九州国際看護大学)を含む

のべ21人が参加。会場準備(前日)、各イベントの受付、会場案内、片付け等を協働で実施。

◎小学生読書リーダーの活躍

- ◆7月28日及び8月7日に実施した「平成26年度小学生読書リーダー養成講座」受講生から希望者を募り、図書館まつりのスタッフとして活動してもらった。40人中、7校から11人の児童が参加。
- ◆各イベントの手伝いの他に、市民図書館のカウンター業務も体験した。また、11人中6人が「ボランティアの部屋」でのおはなし会で、絵本の読み聞かせに挑戦した。
- ◆児童の感想(抜粋)

・わたしはスタッフとして参加して図書館の仕事の大変さを知りました。この経験を学校の図書室の仕事にいかしたいです。・今日、いつもはできない体験ができて楽しかったです。読み聞かせでは、聞く人もやり方もいつもとちがっていて、やってみてよかったです。カウンターではたくさん人がきて大変だったので働いている人はすごいと思いました。・図書館まつりのスタッフになって、リサイクルでは、本をリサイクルすることとは、いいことだなと思いました。読み聞かせでは、みんなが「じょうず」と言ってくれたのでうれしかった、たのしかったです。・カウンターなどの貴重な体験ができてとてもよかったです。小さな子どもからお年よりの人とふれあうことができてよかったです。



おはなし会で読み聞かせを体験。とても上手でした。



工作教室に参加してくれた子に作り方を指導。



カウンターの仕事にチャレンジ！接客の仕方学びました。

◎来場者アンケートの感想(抜粋)

・講演会を楽しく聴きました。・松陰の人間形成と、その後の思想家として明治維新を成し遂げた逸材を輩出たらしめた理由が理解できました。来年の大河ドラマが楽しみです。・ブックリサイクルは、まつりの回を重ねるごとに行列が長くなりましたね。素晴らしいことです。・多くの方がいらっやっびびっくりしましたが、思っていたより欲しい本があり、楽しかったです。・子どもが自由に工作できるスペースがとても良かった。ゆっくり利用できて子どもも喜んでいました。また参加したいです。・ギフトカード作りがとても楽しかったです。またこのような企画楽しみにしています。



毎年、BOOKリサイクルは大盛況。行列は右奥まで続いています。



ボランティアによるおはなし会には毎回多くの親子が参加。



手作りの団体紹介パネルの前で記念撮影。